

国土交通大臣
齊藤 鉄夫 殿

令和6年2月29日の完了実績報告期限を超えて、ソフトウェア等を申請したプロジェクトにおいて継続して使用する場合に当該様式を提出していただきます。

建築BIM加速化事業
代表事業者登録事業者
株式会社●●●●●●
○○○ ○○

建築BIM加速化事業に係る補助対象事業の補助事業完了後
継続した利用に関する国土交通大臣承認申請

標記の件について、「建築BIM加速化事業募集要領」5.3（1）
（2）（3）利用料、購入価格2万円以上であり、かつ実績報告
以降も利用する場合、補助事業完了後も当該プロジェクトの建築
B I Mに利用する旨、国土交通大臣に承認申請する。

- 1、代表者事業登録番号 BIM-●●●●●
- 2、プロジェクト名 ○○○○○ビル新築工事
- 3、プロジェクト番号 BIM-●●●●●-●●●●
- 4、交付決定番号 交00000号
- 5、補助事業者 株式会社●●●●●建設
- 6、補助事業者番号 BIM-0000-000-000
- 7、補助対象経費のうち承認対象経費

代表事業者登録完了通知書、
交付決定通知書の記載内容との
整合についてご注意ください。

(1) BIMソフトウェア利用費	・ 利用開始時期	○○○○	・ 利用終了時期	○○○○
	・ 補助対象経費	○○○○	(内、超分	○○○○ 千円/税抜)
(2) BIMソフトウェア関連費	・ 利用開始時期	○○○○	・ 利用終了時期	○○○○
	・ 補助対象経費	○○○○	(内、超分	○○○○ 千円/税抜)
(3) C D E 環境構築費・利用費	・ 利用開始時期	○○○○	・ 利用終了時期	○○○○
	・ 補助対象経費	○○○○	(内、超分	○○○○ 千円/税抜)

利用開始時期、利用終了時期については、各費目で複数の契約がある場合は、一番早い利用開始時期、一番遅い利用終了時期を記載して下さい。

補助対象経費は、所定様式②の額と整合させて下さい。内、超分の額は、所定様式⑥の「完了実績報告以降対象額を千円単位(千円未満切り捨て)で記載して下さい。

以上